

## 第 244号

発行日：2020年1月1日

発行人：神 立 秀 明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



## 夕映えの会

## 地域でつなぐ

ふるさと内野を想う

戦前・戦後を生きて



社会福祉法人

ゆうばえ会

理事長

久住 一男

(内野町)

豊かな内野

戦前・戦中の暮らし

新年おめでとうございます。

内野に生まれて85年余り、正月が来ると春暖の光を浴びてかねこおり(つらら)の溶ける雨垂れの音を思い出します。長い冬が過ぎ、雪が消えると祖母は餅草(ヨモギ)摘みに私を野に連れ出すのですが、私は大迷惑(笑)。わが家の僅かな畑の芋掘り、大根取りの手伝いも苦手でした。家は春、秋に養蚕をやっており、桑摘み、繭もぎ等祖母の手伝いに励みました。「繭から軍人の洋服ができたんだよ」と言われたものでした。カイコが桑の葉を食べる静かな音は、国民学校(小学校)時代の懐かしい記憶です。

わが家は新川に近く、洗濯物は新

川で洗うことが当たり前でした。新川は昭和20年頃までは、ウナギ・フナ・はぜ・ぼら・鯉・イトヨ・川蟹等が捕れ、シジミは粒が大きくて大変美味でした。

内野は砂丘の上に発展した町で、地下から清水が湧き、井戸水は大変旨かった。内野の名水が地酒銘酒を生んだと思います。私の近所300メートルほどの範囲に、4つの造り酒屋の酒蔵がありました。こんな豊かな町で戦前・戦中を過ごしました。

戦争と結核

社会保障制度を考える

終戦の8月15日は暑い日でした。正午に天皇の詔勅(玉音放送)がありました。ラジオの音声が悪くてよく解りませんでした。ただ、周囲の大人の話から日本が戦争に負けたことだけはわかりました。蟬の鳴き声が、深く印象に残っています。

母は結核を患っていました。元々病弱な私が感染しないわけはありません。小学校6年生で小児結核を発病、母は翌年の3月病滅しました。病弱の少年は以後、新制中学、巻高校と皆勤賞をもらう精勤さでした。そして新潟大学に入学できました。

しかし、大学2年で結核を再発、希望溢れる生活も1年余りで入院治療。以後5年の闘病生活を余儀なくされ、大学は中退せざるを得ませんでした。

医療保険がない中、結核にかかれば家が潰れるという時代でしたし、

「胸部疾患」の病歴で勤められる会社は極めてまれでした。私は新潟民主商工会で税務・経理を22年間やりました。私にとつての社会保障制度というのは、生きていくための最低限の望みでした。

暮らしやすい内野にしたい

夕映えの会ができたのは1993(平成5)年でした。さまざまな勉強会やシンポジウムなど開催しました。高齢者が安心して暮らせるようにという思いで、お弁当作りと配達を自前で行いました。最初は個人のお台所を貸してもらってのお弁当作りで大変でした。ピンクの新聞「夕映えの会報」は、それ以来内野・西内野の各自治会で回覧させていただいています。ありがたいことです。

さて、今年は東京五輪。東京が世界から注目される中、東京一極集中はとどまるどころか、加速の体です。私自身は幼少期・青年期からのテーマであった社会保障の一端を預かる仕事をさせていただいています。病氣や高齢や障がいにはハンディです。地方で暮らすことも、今やそうかもできません。

しかし人としての尊厳に、いささかの差異もありません。万人が平等のはずです。地域の様々な団体・個人が力を合わせて、暮らしやすいまちづくりを、ご一緒にすすめていきましょう。私も力を振り絞って頑張る所存です。

# 新しいデイサービスの形 “えんでこ”

## ～自分らしくいられる為に～



魚を使ったわんこのおやつ作り



子どもたちと一緒にイモほり



お掃除



他事業所でベッドメイキング

デイサービス“えんでこ”が、今年の6月にオープンしました。私たちはご利用者の「生きがい発見」や「仲間作り」をコンセプトに『社会参加型デイサービス』という、他に類を見ない新しいデイサービスを立ち上げました。「病気や障がいがあってもまだ出来る事がある」「社会や地域等、誰かの役に立つ事が出来る」そんな思いを“えんでこ”で満たす事が出来たらと、有償・無償ボランティアも取り入れた活動を提供しています。

有償ボランティアの一つに「ペットのおやつ作り」があります。近隣のペットショップと提携し、実際のペットおやつ商品を“えんでこ”で作ります。スーパーへ材料となる魚のアラの買出し、魚から身を下す、袋詰めをする、納品等々全工程を活動として行います。

目的は、①スーパーやペットショップ等の社会との交流や外へ出るキッカケを作る②一つの作業を少人数が協力しながら達成する事で仲間作りができる③活動の対価として収益を“謝礼”として還元する事でやりがいを感じていただく等があります。その他にも、排油石鹸や手芸用品等、皆様の特技を生かした物作りを行い、それぞれ販売・還元のシステムを作っています。実際の声としても「この歳になって“給料”がもらえるとは思わなかった！」等と楽しく参加していただいています。

無償ボランティアは、近隣の小学校や幼稚園の草取り、法人の畑作業、えんでこイベント時のスタッフさん等、地域との交流が図れるような活動をご用意しています。特に、それらの活動を通しての小学生等の子ども達との関わりは世代間交流ともなり、双方に自然と笑顔も生まれ、楽しみや生きがいのキッカケともなっています。

フロアの掃除やシーツ交換、窓ふき等、「職員がやる事」という固定観念は捨て、職員・利用者と分け隔てする事なく活動の一環として協力して行っています。また、「天気の良い日は外へ出たい」等の当たり前のお気持ちも大切に、リハビリがてら散歩やお出かけへ簡単に行けるよう柔軟に対応しています。

活動を通して、皆様のケアプラン達成を目指し、“自立”へと導くお手伝いをさせていただいています。他の施設では続かなかった方が、えんでこへは通っていただいている現状や「楽しいからもっと行く日を増やしたい」等のお声もいただけるようになっています。試行錯誤の毎日ではありますが、皆様のニーズに応じたサービスが出来ていると自信をもって、今後も邁進して参ります。



生活相談員・久保田康志

# 「人と人がつながる第二のわが家」 「私らしく生きていく」を支えて



グループホーム ゆうばえ  
計画作成責任者 武田 彰

## 畑作業で

### 入居者と打ち解けて

年号が平成から令和に変わったその日に、私たちのグループホームは始まりました。開所間もない頃は、入居者様と職員双方に戸惑いがあり、職員間で話し合いを重ねました。私たちのグループホームに活気が見られるようになったのは昨年のあの暑い夏の頃。きっかけはグループホームにある小さな畑を入居者様と一緒に始めたことでした。「水やりしなきゃ」や「畑の草



ダイコンの種まき

取りをしないと」という入居者様の声に励まされて、暑い中一緒に汗を流しました。実った夏野菜をとでも楽しそうに収穫する入居者様を見て、「もっと入居者様と一緒に楽しい事がしたい」と職員皆が思いました。

畑に面しているウッドデッキでバーベキュー大会や花火大会を行いました。ご迷惑にならないよう周辺の住宅へ一軒一軒挨拶に行く、「いつも楽しそうだね」とご理解ある言葉をいただきました。



ウッドデッキでバーベキュー会食

稲穂がたわわに実った頃には、入居者様全員で安田温泉まで温泉ツアー。美味しい食事と観劇で敬老の祝いを行いました。初めての大衆演劇に、「すごいね」「きれいだね」と皆さん満面の笑みでした。

## できることは

### 入居者様ご自身で

グループホームゆうばえは18人の入居様が暮らす共同の家です。利用者様ができることは何でもやっていたり、廊下のモップ掛けや手すり拭き、食堂のテーブル拭きを始め、入居者様が食事作りも職員と一緒にキッチンに立ちます。料理に慣れない職員が入居者様から教えていただくことも！

**趣味を生かして地域とつながる**  
地域の方から来ていただいて、羊毛フェルトや裁縫教室を毎月



羊毛フェルト教室

開催しています。趣味活動を通じて利用者様1人ひとりが活躍できる機会を持ち、ご本人らしく暮らし続けられるよう取り組んでいます。

昨年の10月から入居者様の社会参加の一環として、グループホームでペットのおやつ作りを始めました。地域の農家さんが丹精込めて作った野菜を使ってドライフードをつくります。入居者様は加工から袋詰め・パッケージ貼りと全ての工程に参加しています。いつも作業の時には、「これを切れば良いの？」や「あなたこれして！私これするか。」とワイワイ賑やかに戻ります。

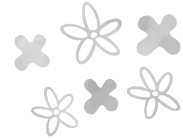
お気軽にグループホームに遊びに来てください。



カボチャでわんこのおやつ作り



# わんこ&にゃんこ おやつ販売中!



ゆうばえのご利用者様が愛情込めて作る  
完全無添加おやつです。

## 地産地消・地域循環

お肉は涌井肉屋様(谷内)、魚はスーパーいちまん様(内野)、野菜は地域の農家さんから仕入れています。販売をお願いするペットショップは、西区内が中心です。海が近く、豊かな農地が広がるこの地域の特性を生かした、人とモノのつながりを目指しています。

## えんでこ売店でも販売しています

開店時間 9:30~17:00(日曜定休)  
お肉ジャーキー、お魚せんべい、野菜チップなど

1袋 330円から。是非お立ち寄りください

ゆうばえ工房

☎ 025-264-5777 Fax 025-261-4430



お手伝いわんこさくら



## 社会参加

高齢者の生きがい発見と居場所づくり、そして社会参加・社会貢献を目的にわんこ&にゃんこのおやつ作りを始めました。営業利益は目的ではありませんし、量産も追求はしていません。

利用者様のケアプランに沿って、リハビリ等と組み合わせた個別の作業メニューに参加していただいています。利用者様には有償ボランティアとして謝礼を差し上げています。



左にアクセスしていただくとゆうえい会と友達になれます。  
各種イベントや、青空市開催時LINEにてお知らせします。

「無料東洋医学、鍼、マッサージ体験会」  
えんでこにて 1月25日 11時~15時

- 〈作り方〉
- ①いちごは洗ってヘタを取り水気を拭き取って、あんこは20gずつ分けておく。
  - ②ラップの上にあんこ20gを置いて平たくし、いちごをのせて包む。
  - ③お皿にクッキングシートを敷き、切り餅を4つに切って、水にくぐらせてから水を切らずに皿に乗せて、ラップをふんわりかける。
  - ④電子レンジ600Wに1分30秒くらいかけてやわらかくする。
  - ⑤餅が熱いうちに砂糖小さじ1を混ぜる。ラップの上に米粉または片栗粉をしき、餅をのせて平たく伸ばす。
  - ⑥餅にいちごあんこをのせて包む。閉じ目を下にして皿に乗せて完成。2個目も同じ要領で作る。

- 〈4個分〉
- ・いちご 4個
  - ・こしあん 80g
  - ・切り餅 4個
  - ・砂糖 小さじ4
  - ・米粉または片栗粉 適量



「いちご大福」  
切り餅を使っておうちで簡単にいちご大福ができてしまいます。お正月のお楽しみレシピにご活用を!



ゆうえい会  
管理栄養士  
田村 綾佳

田村さんの  
ご飯ですよ!

## 連絡先一覧

ゆうえい会配食事業部

☎ 070-4453-5228

(担当: 小島明日枝)

夕映えの会生活支援

☎ 070-4314-3980

(担当: 神立秀明)



## ご寄付をお願いします

〇タオル グループホームゆうばえ

要らなくなったバスタオル・フェイスタオル、シーツなど

〇マンガ単行本 えんでこ

(少年少女向け各種)  
よろしくをお願いします!

## 編集後記

ゆくゆく年くる年のわが人生、一段と感慨深くなるばかりです。先行きの不透明感に拭いきれませんが、この際、不透明さを楽しむふてぶてしさも必要のようです。さてお正月にちなんで、今年の編集子の目標。角田山から国上山までの西蒲三山縦走です。直線距離21km、約12時間の山歩き。妻が良いと言えは一人で、そうでなければ単独行のつもりです。そんなことを考えてからルート調査を兼ねて部分歩きを始めています。見る角度によって、三山は様々な顔を見せてくれます。三山踏破は、私の仕舞い方のひとつと決めています。(M記)